

カラフルターフの施工方法

コンクリート下地の場合

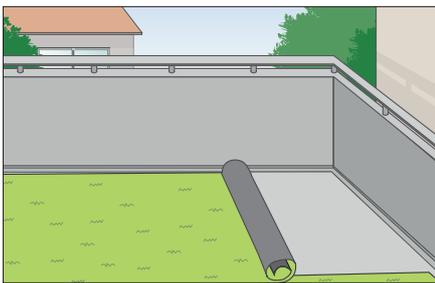
[必要工具]

- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> カッター | <input type="checkbox"/> 防水テープ | <input type="checkbox"/> ウレタン接着剤 |
| <input type="checkbox"/> ハサミ | <input type="checkbox"/> メジャー | <input type="checkbox"/> ジョイントシート | または両面テープ |

[施工前の確認]

- 人工芝に巻きクセがある場合は、直射日光にしばらくあてるか、逆巻きにしてください。
- 土砂、ホコリなどがないようによく清掃してください。水洗いをした場合は乾燥させてください。

[施工手順]



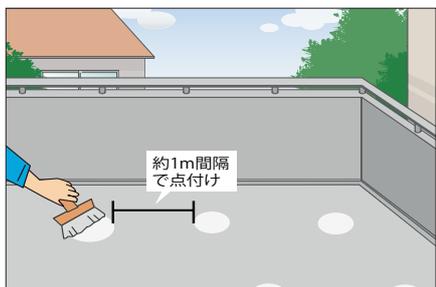
1 人工芝の仮敷き

- 縦、横継ぎ部の位置をきれいに配置します。



2 切断

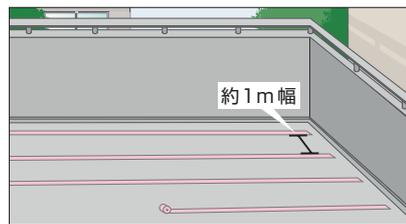
- シート裏面をハサミ、カッターで切断します。
- 芝目方向を揃え、ジョイント部をきっちりあわせてください。



3 接着剤また両面テープをつけます。

接着剤の場合

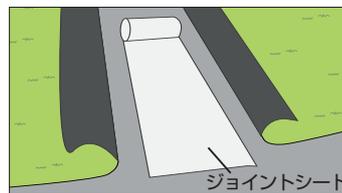
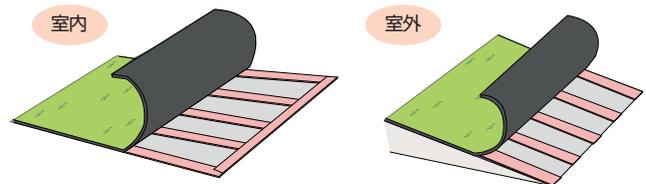
- 点付けで接着剤をつけます。(約1m間隔)
- 角や端部はしっかり貼りつけてください。
- 芝目方向を揃え、ジョイント部をきっちりあわせてください。



両面テープの場合

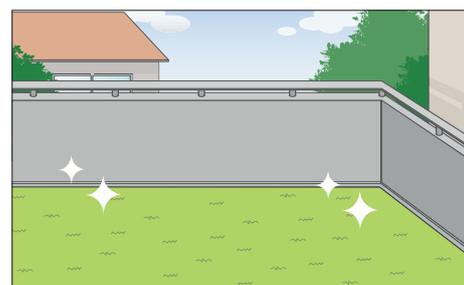
- 角や端部はしっかり貼りつけてください。
- 芝目方向を揃え、ジョイント部をきっちりあわせてください。

※ 透水性の高いカラフルターフは、屋外で施工する場合、下図のように勾配に対して水が流れるように両面テープ・接着剤を付けると効果的です。



4 仮敷きした人工芝を床面に貼りつけます。

- 継ぎ目がある場合は市販のジョイントシートを床面に貼り、ウレタン接着剤でカラフルターフ裏面に接着してください。



5 完成

ご使用上の注意事項

- タバコなどの火気のご使用はやめてください。
- 外部で両面粘着テープを使用の際は、雨のかかりにくい場所で使用してください。

スーパークッションターフの施工方法

[施工前の確認]

- 平滑かつ水はけの良い下地に施工してください（コンクリート、セラミックタイル、ウッドデッキ等）。
- 土の上に施工する場合は5cm以上の砂下地を作る必要があります。その場合は必ず転圧機を使用して、下地を締め固めてください。

[施工方法]

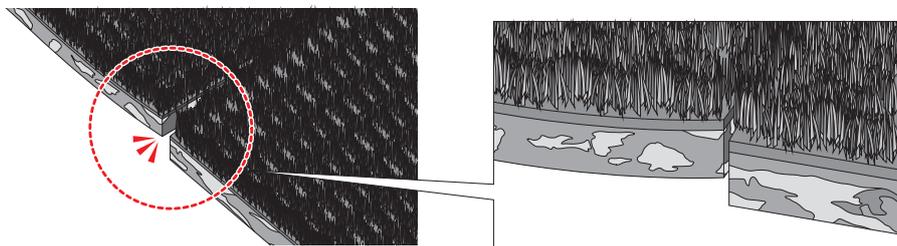


上写真のように凹凸の部分にはめるだけ。ジョイント金具などは必要ありません。

注意事項

- スーパークッションターフは、気温や湿度により伸縮や多少の反りが発生する場合があります。角部分が浮き上がってくる場合があります。屋外に施工する場合は反りによる浮き上がりを防止するために、屋外用の両面テープやウレタン系接着剤で部分固定することをお勧めいたします。

- ・ 推奨ウレタン系接着剤
ウレタンアドボン
(AB-500U)



- 芝の流れ方向により隣り合わせになる芝パネルと色が違って見える場合があります。その場合、向きを変えて設置するかブラシで整える等の工夫をしながら施工してください。（但し、これに従っても、多少色が違って見える場合もあります。）
- 太陽光が反射するガラス面付近に施工するとポリエチレン製につき表面が変色する場合があります。
- 材質の特性上、静電気が発生する場合があります。
- 製造ロットにより寸法誤差がありますので、同一ロットで施工してください。
- 梱包費が別途必要となります。
- ハイヒール等で歩行すると、ジョイント部分にヒールがささり転倒する危険性があります。
- ボンドで床に固定する時は、ウレタンアドボン（AB-500U）が適合しています。
- ジョイント式施工のため、激しい運動をする場所には不向きです。
- 風圧で飛ばされるような場所では使用できません。
- 商品の特性上、静電気が発生する場合がございます。
- 商品写真は印刷のため、現物とは若干色が異なります。
- ガラス窓や扉付近に施工する場合、太陽光の反射により表面が高温となり、緑色の芝が縮み茶色の芝が目立つようになるため変色したように見える事があります。
- 窓際や壁際等太陽の反射光を浴びる箇所は、使いはじめの半年間位に芝が縮み、多少 枯れ草風になります。（その後は進行しません）
- 収縮による隙間を埋める場合は、端材をご使用ください。
- 輸入品につき一時的に品切れを生じることがあります。ご注文の際は、必ず在庫と納期を弊社までお問い合わせください。